

科目名	ロジカルシンキング								年度	2025
英語科目名	Logical thinking								学期	後期
学科・学年	I Tスペシャリスト科	2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	大 縄		教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】 論理的思考を身につけ、具体的には「コミュニケーション力」と「問題解決力」を養うことを目的とする。 その力を基に、就活やこれからの社会人としての生活にも活用できることをねらいとする。										
【科目の概要】 具体的な思考法やツール（MECE、演繹法と帰納法、因果関係と相関関係、ピラミッドストラクチャー、ロジックツリーなど）を実践的に学び、「考えること」「書くこと」「話すこと」それぞれの論理的なスキルを身につける。										
【到達目標】 就職活動及び将来のビジネスパーソンとして、自分の考えをしっかりと相手に伝えることができる、自らが積極的に個人でもチームでも課題解決・問題解決ができることを具体的な目標とする。社会人基礎力である「考え抜く力」「前に踏み出す力」「チームで働く力」を養成することで、早期に内定先を決める力を付けさせる。 A. 粘り強く考える力 B. 自分の考えをまとめる力 C. 論理的に推論する力 D. チームで問題解決に取り組む力										
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は基本的に認めない。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。教科書中心の授業ではなく、ロールプレイングを用いて実践的な授業を行うので、積極性を持って取り組むこと。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	今までの習慣などに とらわれず、自分 の考えを展開でき る	考えたことをさらに 発展させて、自分の 考えを拡大させるこ とができる	与えられたテーマに ついて、自分の考え をあきらめずに粘り 強く考えることがで きる	与えられたテーマに ついて熟考せずに、 すぐ考えることを止 めてしまう	考える姿勢・努力が 見られない					
到達目標 B	論理的に自分の考え をまとめ、相手に伝 えることができる	書き出した自分の考 えをまとめることが できる	自分の考えを書き出 すことができる	自分の考えを単なる ワードでしか書き出 すことしかできない	自分の考えを書き出 す姿勢・努力が見ら れない					
到達目標 C	与えられた条件を整 理し、一般的な推測 をもとに論理的に推 論することができる	与えられた条件を整 理し、一般的な推測 をもとに概ね論理的 に推論することがで きる	与えられた条件を整 理し、基本的な考え 方(モデル化)は理解 できている	与えられた条件は整 理できるが、基本的 な考え方(モデル化) が理解できていない	どのように考えれば よいか、見当がつか ない					
到達目標 D	自らも積極的に発言 をし、チーム内での 案をまとめている	積極的に発言をし、 他の意見に関しても 応えている	発言をまれにする が、他の発言にはあ まり関心がない	積極的に参加してい ない（チーム内で発 言しないなど）	参加していない（ス マホなどをいじって いるなど）					
到達目標 E	課題に対する結論と 理由がしっかり結び ついており、具体的 な事例が記述されて いる	課題に対する結論と 理由が明確に記述さ れていて、結びつい ている	課題に対する結論と 理由にあたるものが 記述されている	課題は提出している が、質量ともに十分 でない	課題提出をしない					
【教科書】 好感度アップビジネスマナー										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		ロジカルシンキング			年度	2025
英語表記		Logical thinking			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	ロジカルシンキングを身に着けるメリット	1 考えること	考えることの大切さを理解できる	1	
			2 コミュニケーション力	コミュニケーション力の必要性を理解できる		
			3 問題解決力	問題解決力の必要性を理解できる		
2	ロジカルコミュニケーション	自分自身を掘り下げる	1 「why」	「why思考」を理解できる	1	
			2 「自分はなぜ〇〇ができないのか」	自分の苦手なことを掘り下げることができる		
			3 学生時代に力を入れたこと	学生時代に力を入れたことを掘り下げることができる		
3	ロジカルコミュニケーション	思考法のベースを理解する	1 「MECE」	「MECE」を理解できる	1	
			2 二項対立など	二項対立などを書き出すことができる		
			3 ゼロベース思考	社会的問題をゼロベース思考で考えることができる		
4	ロジカルコミュニケーション	結果と理由を結びつける	1 論理的な話し方	論理的な話し方のポイントを理解できる	1	
			2 演繹法と帰納法	演繹法と帰納法を理解できる		
			3 相関関係と因果関係	相関関係と因果関係を理解できる		
5	ロジカルコミュニケーション	相手にわかりやすく説明する方法	1 相手に合わせたコミュニケーション	相手に合わせたコミュニケーションのポイントを理解できる	1	
			2 ピラミッドストラクチャー	ピラミッドストラクチャーを使うことができる		
			3 PREP法とSDS法	PREP法とSDS法で説明ができる		
6	フレームワーク	PDCAを使ってみよう	1 PDCAサイクルとは	PDCAサイクルの意味と効果を理解できる	1	
			2 PDCAサイクルを使ってみる	PDCAサイクルを使って考えることができる		
7	フレームワーク	代表的なフレームワークを使ってみよう	1 いろいろなフレームワーク	思考のフレームワークの意味と効果を理解できる	1	
			2 フレームワークの活用例	思考のフレームワークを使って考えることができる		
8	フレームワーク	フレームワークを使って、企業分析をしてみよう	1 3C分析	3C分析の意味と効果を理解できる	1	
			2 4P分析	4P分析の意味と効果を理解できる		
			3 就活で活用する	3C分析や4P分析を活用して企業分析ができる		
9	問題解決力（論理的推定）	フェルミ推定を使って理論的に数値を算出してみよう	1 面積ベース問題	面積ベース問題の手順を理解できる	1	
			2 ケーススタディ演習	面積ベース問題の推定値を算出できる		
10	問題解決力（論理的推定）	フェルミ推定を使って理論的に数値を算出してみよう	1 ユニットベース問題	ユニットベース問題の手順を理解できる	1	
			2 ケーススタディ演習	ユニットベース問題の推定値を算出できる		
11	問題解決力（論理的推定）	フェルミ推定を使って理論的に数値を算出してみよう	1 ミクロ売上問題	ミクロ売上問題の手順を理解できる	1	
			2 ケーススタディ演習	ミクロ売上問題の推定値を算出できる		
12	問題解決力（ロジックツリー）	ロジックツリーを使って、論理的に問題を解決する	1 マーケティング問題	ロジックツリーを活用したマーケティング問題を理解できる	1	
			2 ケーススタディ演習	自分なりにマーケティング問題の解決策を考えることができる		
13	問題解決力（ロジックツリー）	ロジックツリーを使って、論理的に問題を解決する	1 個人ベース問題	ロジックツリーを活用した個人ベース問題を理解できる	1	
			2 ケーススタディ演習	自分なりに個人ベース問題の解決策を考えることができる		
14	問題解決力（ロジックツリー）	ロジックツリーを使って、論理的に問題を解決する	1 ユニットベース問題	ロジックツリーを活用したユニットベース問題を理解できる	1	
			2 ケーススタディ演習	自分なりにユニットベース問題の解決策を考えることができる		
15	問題解決力（ロジックツリー）	ロジックツリーを使って、論理的に問題を解決する	1 社会的問題	ロジックツリーを活用した社会的問題を理解できる	1	
			2 ケーススタディ演習	自分なりに社会的問題の解決策を考えることができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等